



WeLPet™ for Android

JobCreator 取扱説明書

バージョン 2.2.3用
2025年11月4日

目次

1.はじめに	4
1.1.製品の特徴	5
1.2.動作環境	6
1.3.対応ハンディターミナル	6
1.3.対応アンドロイドバージョン	6
2.ダウンロード/インストールについて	7
2.1.JOBCREATOR アプリのダウンロード	8
2.2.JOBCREATOR アプリのインストール	9
3.JOBCREATOR アプリ操作方法	11
3.1.JOBCREATOR アプリの起動	12
3.2.業務メニュー	13
3.3.システムメニュー	22
3.3.1.トップ	22
3.3.2.メニュー受信	23
3.3.3.メニュー削除	23
3.3.4.メニュー受信設定	24
3.3.5.ライセンス認証	26
3.3.8.アプリ共通設定	27
3.3.7.アプリアップデート	30
3.3.8.アプリ初期化	30
3.3.9.SM-OCR ライセンス認証	31
3.3.10.AirOCR®ライセンス認証	31
3.3.11.パスワード設定	32
3.3.12.ログイン	32
3.3.13.ログアウト	33
4.JOBCREATORWEB アプリ	34
4.1.起動方法	35
4.2.画面説明	35
4.2.1.ログイン画面	35
4.2.2.メニュー/ファイル選択	36
4.2.3.共通設定	37
4.2.4.通信設定	38
4.2.5.共通リーダ設定	39
4.2.6.ファイル名設定	41
4.2.7.サウンド設定	42
4.2.8.機能設定	43
4.2.9.入力項目設定（項目設定）	45
4.2.10.入力項目設定（データチェック）	51
4.2.11.入力項目設定（リーダ設定）	55
4.2.12.拡張設定	56
4.2.13.メニュー/ファイルダウンロード	57
4.2.14.QR コード表示	58
5.CHATCOMWEB アプリ	59
6.参考資料	60
6.1.各種ファイルについて	61
6.2.拡張設定の補足	62
6.2.1.拡張コマンド	62

6.2.2.拡張コマンドサンプル.....	66
6.3.メニュー／ファイル選択画面の画像カスタマイズ	69
6.4.名称に設定できるコマンドについて	70
6.5.初期値に設定できるコマンドについて	70
7.制限事項・注意事項	71
7.1.ファイルの注意事項.....	72
7.2.フォルダの注意事項.....	72
7.3.アプリケーションについて	72
7.4.バーコード読み取りが出来なくなった場合.....	73
7.5.メニュー／データについて	73
7.6.バーコードチェッカーについて	74
7.7.GS1 フォーマットチェッカーについて	74

1.はじめに

このたびは、「WelPet™ for Android」（以下、WelPet）をご利用いただき誠にありがとうございます。

WelPet は、ハンディターミナルで動作するバーコード業務アプリ JobCreator アプリと、そのアプリの業務メニューファイルを作成する JobCreatorWEB アプリ、収集データ、マスタデータなどを WebDB で管理する ChatComWEB アプリがあります。

ChatComWEB については「ChatComWEB 取扱説明書」を参照してください。

本書は、JobCreator、JobCreatorWEB の操作方法について説明いたします。

また、メニューファイル、収集したデータやマスタデータをハンディターミナルへ送受信する WindowsPC 用ソフトウェア、WelPet ChatCom2（以下、ChatCom）があります。

ChatCom については「WelPet ChatCom2 取扱説明書」を参照してください。

WelPet は弊社よりご購入いただいたハンディターミナル、またはライセンスをご購入頂いた場合に限りご利用いただけます。

- 1.本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。
- 2.本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。
- 3.本書内に記載されている製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。
- 4.本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 5.運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。

1.1. 製品の特徴

お客様の業務ニーズに合わせてメニュー・入力項目を簡単に設定することができます。

メニュー・ファイルを切替えて使用することができます。

メニュー・ファイルの中に機能を割り当てた業務メニューを設定することができます。

業務メニュー（収集、消し込み、マスタ照合、照合）の中に入力項目を設定することができます。

業務メニューには次の機能を割り付けることができます。

収集	収集処理を行います
消し込み	マスタファイルの数量フィールドの消し込みを行います
マスタ照合	マスタファイルとデータの照合を行います
照合	入力データ同士の照合を行います
バーコードチェック	バーコードをスキャンし、コード種別、桁数、読み取ったコードの表示を行います
GS1 フォーマットチェック	バーコードをスキャンし、GS1 のフォーマットに合致しているかの判定を行います
ファイル表示	データファイル、マスタファイル、リストファイルの表示を行います
ファイル削除	データファイル、マスタファイル、リストファイルの削除を行います
ファイル送信	データファイル、マスタファイル、リストファイルの送信を行います
ファイル受信	データファイル、マスタファイル、リストファイルの受信を行います

また入力データのチェックを以下の方法で行う機能があります。

収集済みデータとの照合	収集済みのデータと一致するかしないか照合します
入力データとの照合	入力項目との照合を行います。（最大 20 個）
マスタデータとの照合	マスタファイルの中に入力データがあるかないか照合します
処理分岐の条件	入力データの桁数/データが設定した条件の場合、指定の入力項目にジャンプさせることができます

1.2. 動作環境

メニューファイルを作成するためにはインターネットへ接続する環境とブラウザ「Google Chrome」が必要になります。

メニューファイルや各種ファイルをハンディターミナルへ転送する方法として、以下のいずれかの環境が必要になります。

- ・Wi-Fi（インターネット）接続環境
- ・Bluetooth
- ・USB ケーブル

1.3. 対応ハンディターミナル

- ・ZEBRA TC シリーズ、MC3300 (RFID のタグは UID 読取りのみ)
- ・SUNMI L2s、V2、V2s、V3
- ・Honeywell EDA、CT、CN シリーズ
- ・CIPHER LAB RS36、RS38
- ・DENSO WAVE BHT-M60、BHT-M70、BHT-M80
- ・OPTICON H-35
- ・Unitech EA520、EA660、HT330
- ・Panasonic FZ シリーズ (バーコード : 読取りコード設定はアプリからは行えません)
- ・Point Mobile PM30(SolomonOCR は非対応)

※本取説で使用している画面イメージは、使用する機種やOS・システムのバージョンによって異なる場合があります。

1.3. 対応アンドロイドバージョン

Android 9 ~ Android 13

2. ダウンロード/インストールについて

2.1. JobCreator アプリのダウンロード

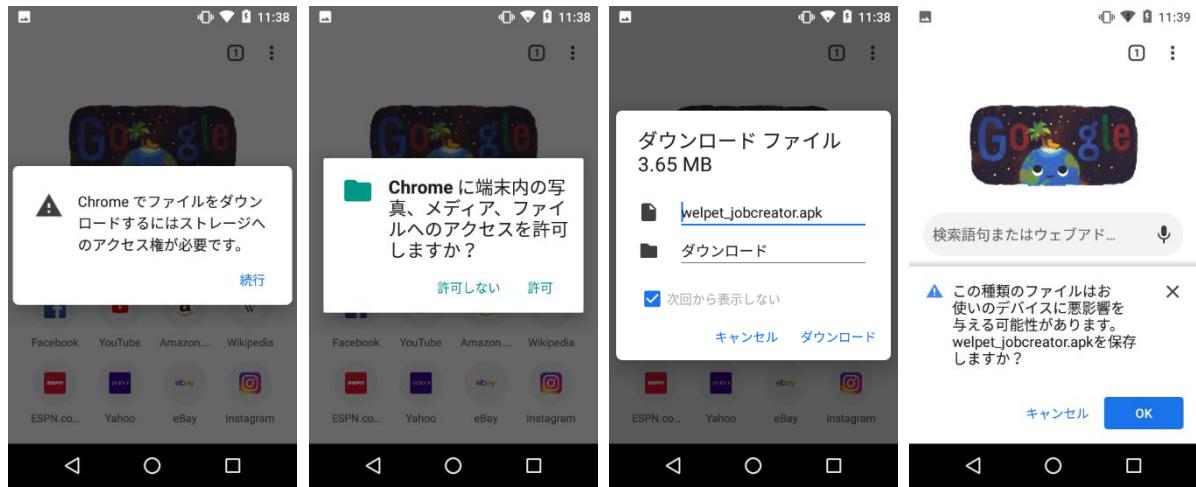
ハンディターミナルをインターネットに接続してください。

ブラウザ「Google Chrome」または「Chromium」などを起動して検索ボックスにカーソルを合わせて下記の QR コードをスキャンしてください。



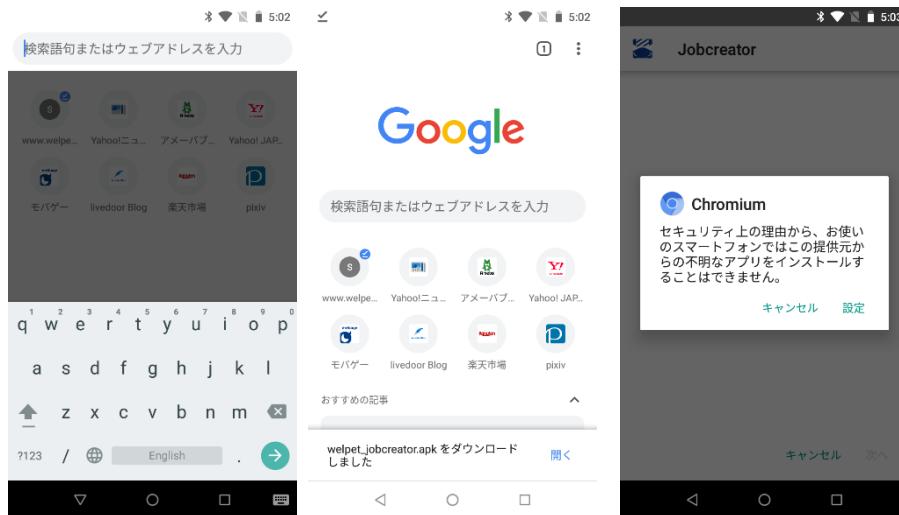
<https://welcomdesign.matrix.jp/user/api/welpet/download>

Android 7.x



「続行」→「許可」→「ダウンロード」→「OK」で保存してください。

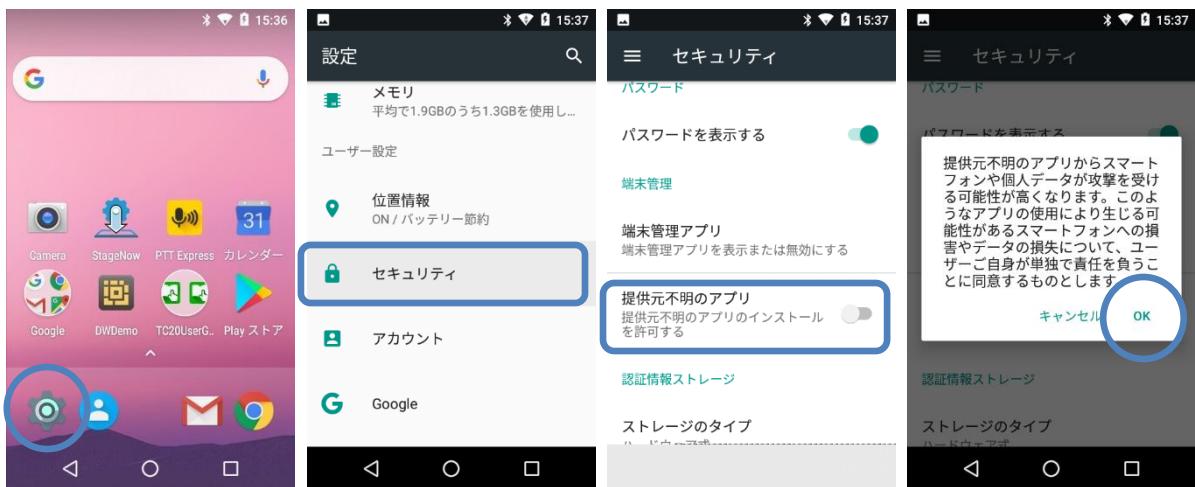
Android 8.x



「開く」→「設定」

2.2. JobCreator アプリのインストール

Android 7.x

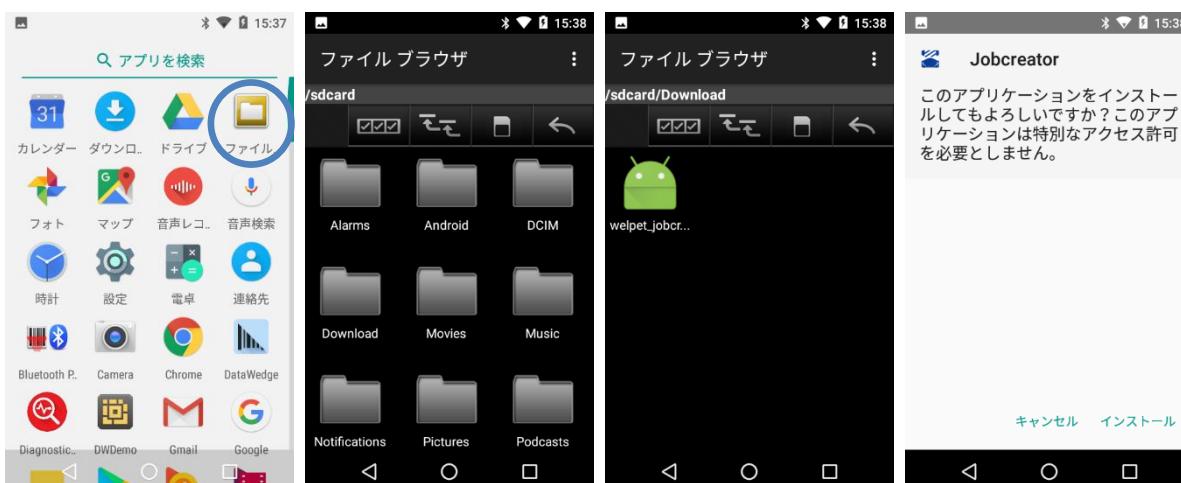


「設定」→「セキュリティ」→「提供元不明のアプリ」→「OK」で提供元不明のアプリのインストールを許可してください。



※インストール終了後は、提供元不明のアプリのインストールを許可しないように設定を戻してください。

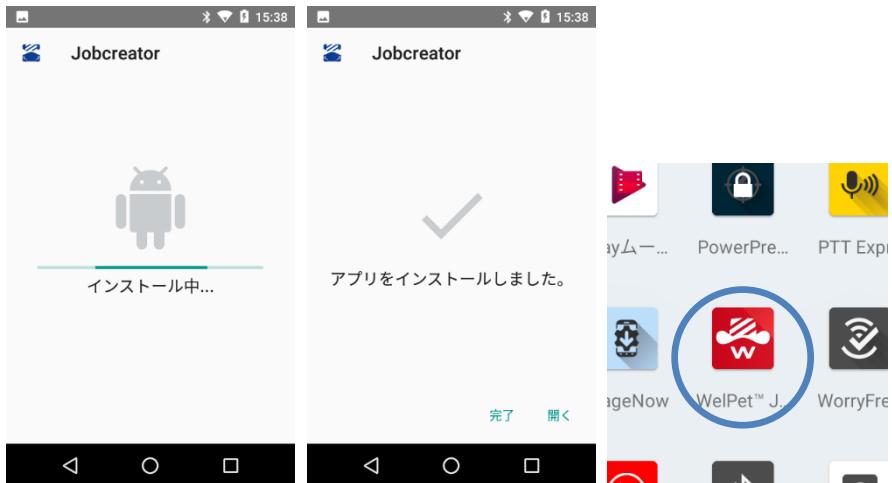
アプリの一覧から「ファイルブラウザ」を起動してください。



「Download」→「JobCreator.apk」のアイコンをタップしてください。

インストールの確認画面が表示されますので「インストール」を実行してください。

WelPet™ for Android



Android 8.x

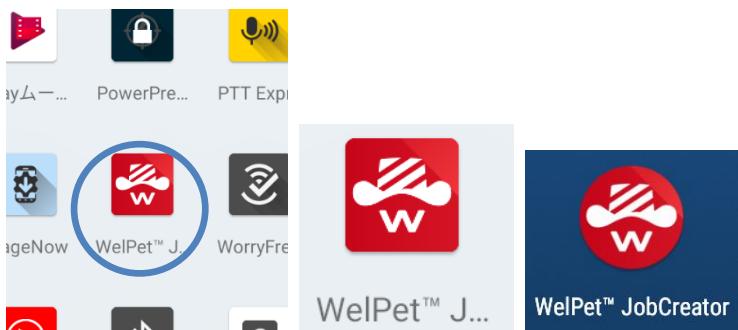


※インストール終了後は、「設定」→「アプリと通知」→「Chromium」→不明なアプリのインストールを許可しないよう
に設定を戻してください。

※機種やOSのバージョンによって手順が異なることがあります。

3. JobCreator アプリ操作方法

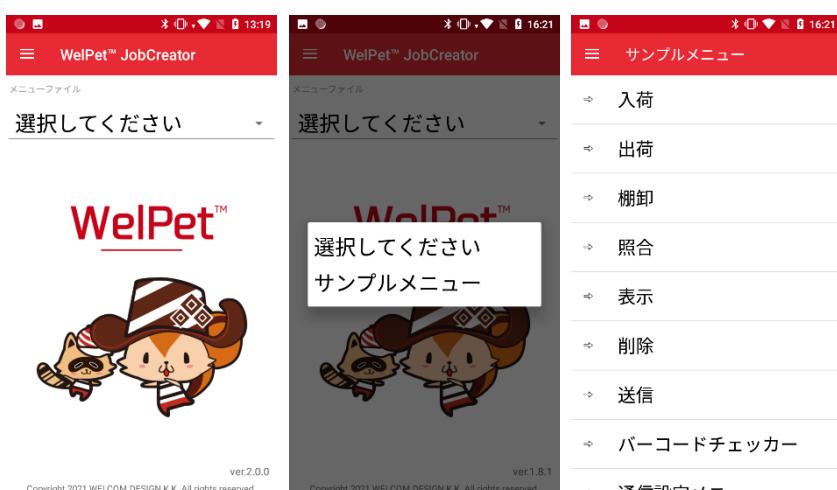
3.1. JobCreator アプリの起動



「WelPet™ JobCreator」のアイコンをタップしてください。



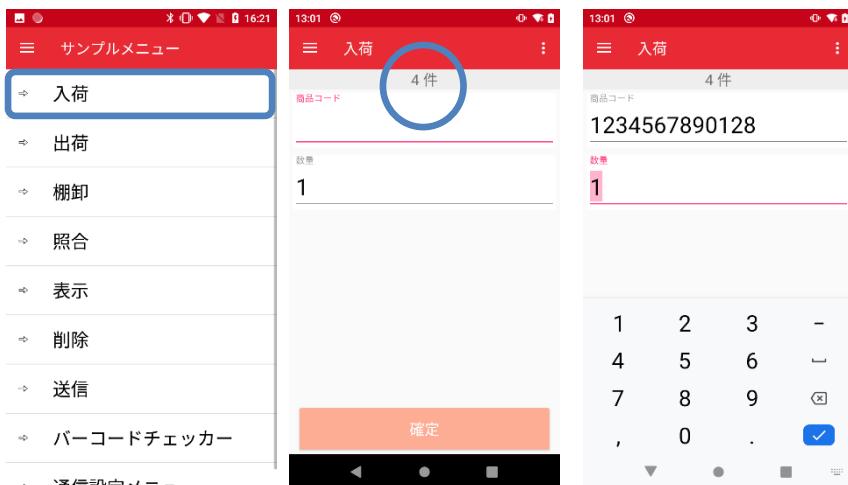
初回起動時はアクセス許可の画面が表示される場合がありますので「許可」を選択してください。



「設定ファイル」の「選択してください」をタップすると「メニューファイル」を選択することができます。

「サンプルメニュー」をタップしてください。

3.2. 業務メニュー



「入荷」をタップすると入荷処理の画面へ遷移します。

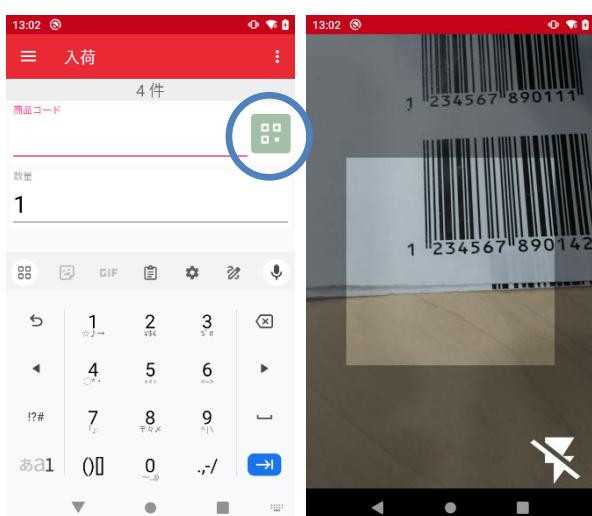
バーコードを読むと「商品コード」にバーコードのデータは挿入されます。

「数量」をタップするとソフトキーで数値を編集することができます。

「確定」ボタンをタップすると保存されます。

収集したデータの件数が表示されます。

右上のメニューからクリアを選択すると、入力途中のデータが全てクリアされます。



カメラでバーコードをスキャンする機種については、入力項目の右端にスキャン用のボタンが表示されます。

ボタンを押すとカメラでバーコードの読み取り画面に切り替わります。

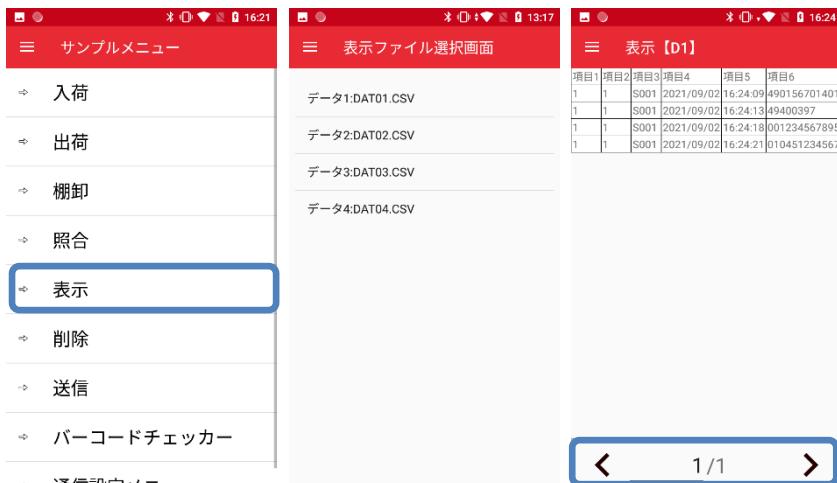
フラッシュ対応機種では画面にフラッシュのON/OFFボタンが表示されます。



照合、マスタ照合の場合は、照合 OK、NG の件数が表示されます。



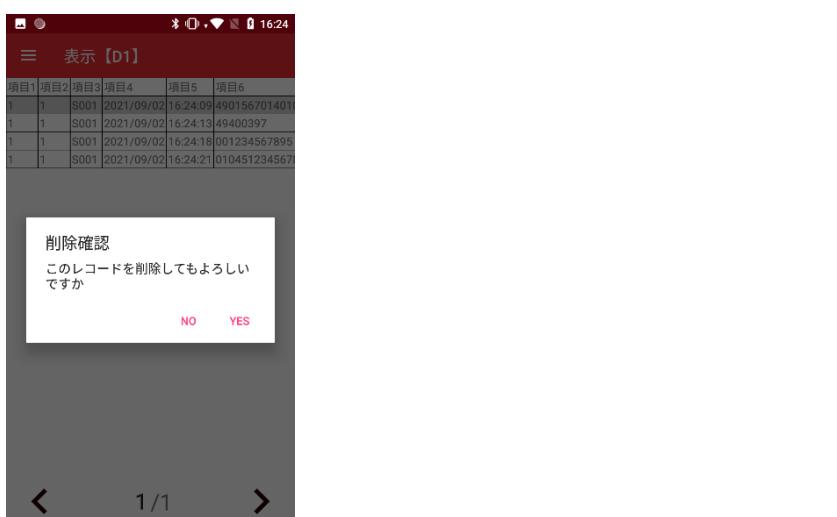
消し込み、マスタ照合の設定でレコードを削除するが有効になっている場合は、マスタレコードの件数が赤色で表示されます。



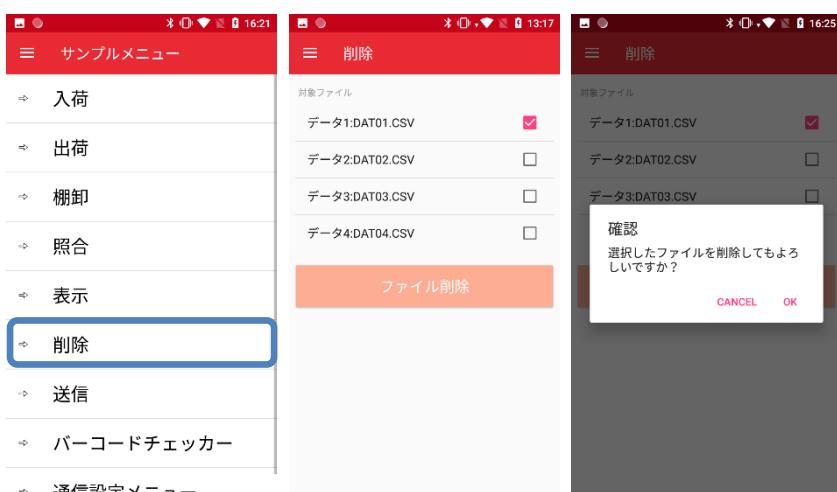
「表示」→「データ 1」をタップすると収集したデータを確認することができます。

100 件ずつ表示を行います。

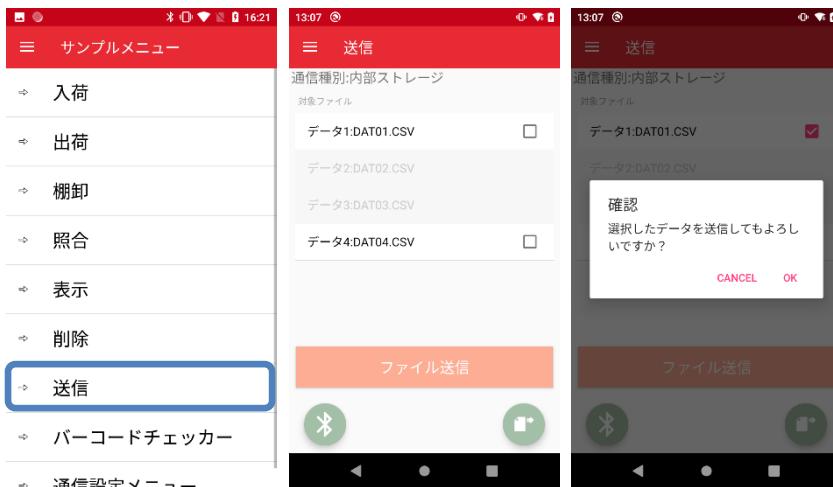
左右のボタンで次のデータを表示します。(直接ページ数を指定することも出来ます)



行を長押し (タップ) すると削除確認ダイアログが表示され、行を削除することができます。



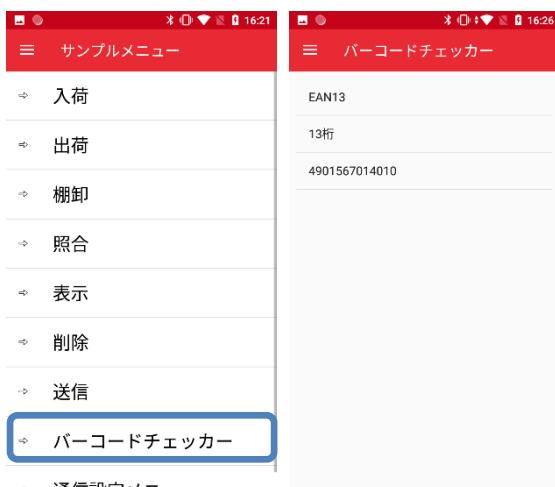
「削除」→削除したいファイルを選択して「ファイル削除」ボタンをタップするとファイルを削除することができます。



「送信」→送信したいファイルを選択して「ファイル送信」ボタンをタップするとファイルを送信することができます。

サンプルメニューではファイルを内部ストレージへCSV形式で保存することができます。

ファイルの送受信方法は通信設定メニューから変更することができます。



「バーコードチェッカー」をタップするとバーコードchecker画面に遷移します。

バーコードを読み取るとバーコードの種類と桁数、読み取ったデータを表示します。

読み取ったバーコードデータをタップすることでデータをクリップボードへコピーすることができます。



「通信設定メニュー」をタップすると「通信設定メニュー画面」に遷移します。



通信設定で通信種別を設定します。

通信種別には、ChatCom (Bluetooth)、ChatCom (TCP/IP)、FTP、内部ストレージ、ChatComWEB、共有フォルダがあります。

※ここで設定した通信設定は業務メニュー内で使用するデータファイル、マスタファイル、リストファイルの
送受信を行う場合の設定になります。

業務メニューをハンディターミナルへ取り込む設定はメニュー受信設定で行います。

(1) ChatCom (Bluetooth)

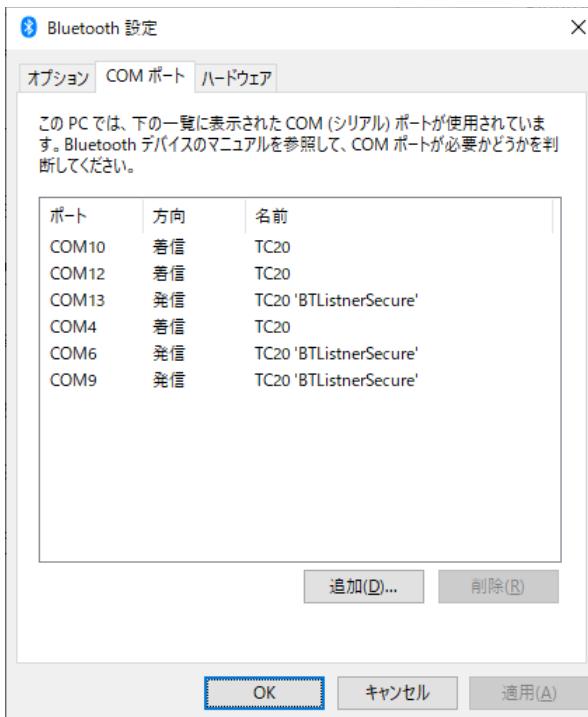


ChatCom2 がインストールされた PC と Bluetooth を使ってファイルを送受信する場合に選択します。

※あらかじめ PC とハンディターミナルの Bluetooth ペアリングを行ってください。

ハンディターミナルの通信設定からペアリングした Bluetooth のデバイスを選択して、通信種別を Bluetooth に設定してください。

PC 側の Bluetooth でペアリングされたハンディターミナルのポート（着信）を ChatCom2 に設定してください。



※着信ポートの作成方法は、WindowsOS のバージョンや Bluetooth のドライバなどによって異なりますので、ご利用 PC の設定方法に従って作成してください。

(2) ChatCom (TCP/IP)



ChatCom2 ガインストールされた PC と Wi-Fi を使ってファイルを送受信する場合に選択します。

ChatCom2 の設定で表示されているホスト IP とポート番号を設定してください。

※PC の IP アドレス/ポート番号で TCP/IP 通信ができるように設定してください。(ファイアウォールやネットワークセキュリティなど)

(3) FTP



FTP サーバーからファイルを送受信する場合に選択します。

(4) 内部ストレージ



内部ストレージからファイルを送受信する場合に選択します。

(5) ChatComWEB



ChatComWEB からファイルを送受信する場合に選択します。

※端末識別番号を ChatComWEB の設定->端末情報へ登録する必要があります。

リアルタイム通信を行うをオンにした場合、データファイル、マスタファイルへの書き込み、参照をリアルタイムに行います。

※収集した画像ファイルも確定時に ChatComWEB へ送信されます。

※ChatComWEB の画像ファイル、リストファイルについては参照することはできません。

リアルタイム通信を行うをオンに設定したうえで、送信時にマスタデータを付加するをオンにした場合、WebDB へのデータ送信時に参照したマスタデータを付加します。

(6) 共有フォルダ



ファイルサーバーの共有フォルダからファイルを送受信する場合に選択します。

※Android 端末から接続可能なことを前提とします。共有フォルダの作成方法等、PC 側の設定方法についてはサポートしていません。

※SMB1 には対応していません。

3.3. システムメニュー



左上の「≡」をタップするとシステムメニューが表示されます。

3.3.1. トップ



メニュー/ファイル選択画面へ戻ります。

複数メニュー/ファイルが読み込まれている場合は、アプリを起動したときにこの画面から始まります。

※固定メニューが設定されている場合はメニュー画面へ戻ります。

3.3.2. メニュー受信



「ファイル受信」ボタンを押すことで、共通通信設定の通信種別に設定している方法でメニューファイルを受信することができます。

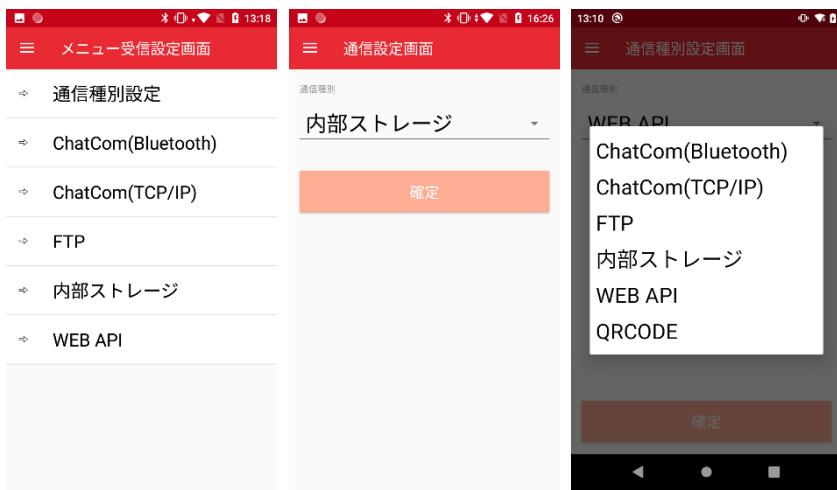
WEB API を使ってメニュー受信する場合は、WEB アプリに登録されているメニュー一覧が表示され、受信したいメニューを選択することができます。

3.3.3. メニュー削除



削除する対象ファイルを選択して「ファイル削除」ボタンを押すことでメニューを削除することができます。

3.3.4. メニュー受信設定

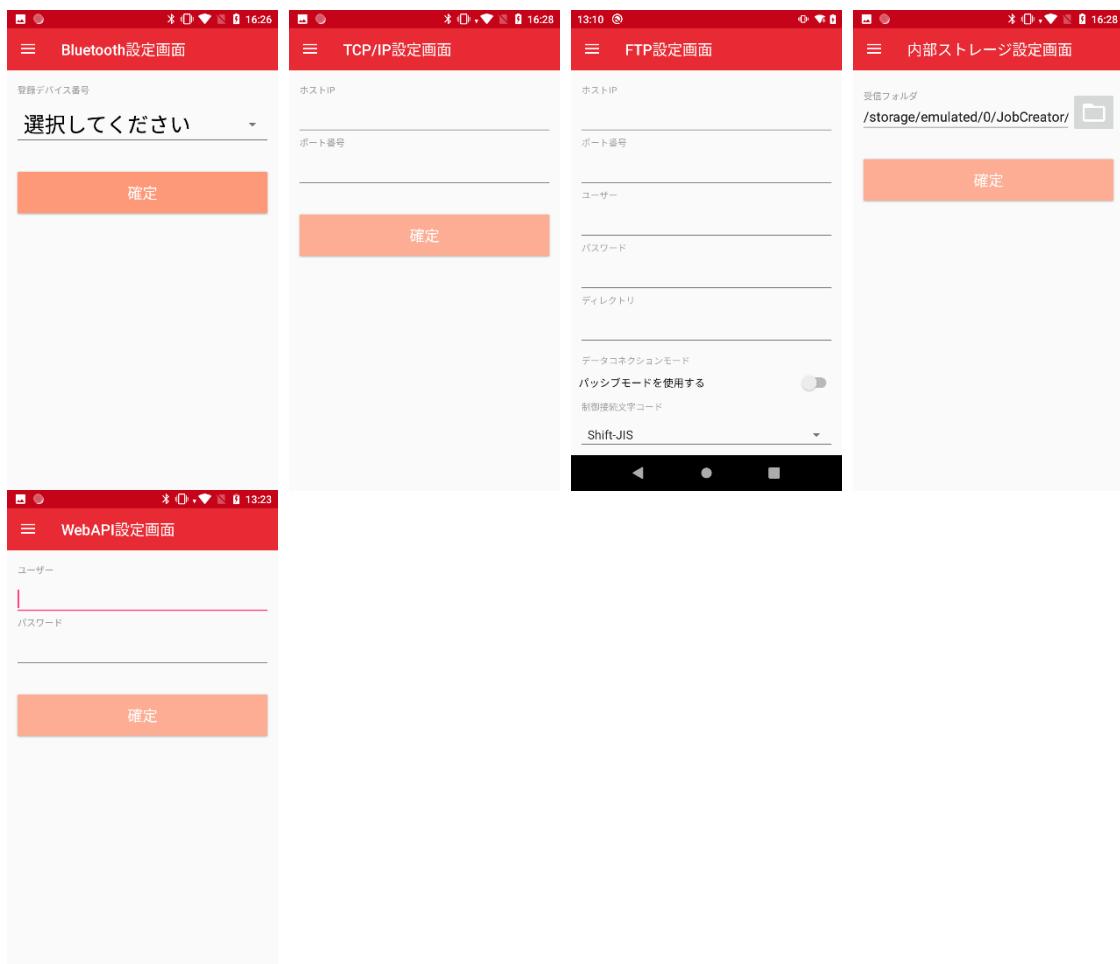


通信設定で通信種別を設定します。

通信種別には、ChatCom (Bluetooth)、ChatCom (TCP/IP)、FTP、内部ストレージ、WEB API、QR CODE があります。

※ここで設定した通信設定はメニューファイルをハンディターミナルへ取り込むために必要な設定となります。

※業務メニューで使用する実績ファイルやマスタファイルなどは、業務メニュー内の通信設定で行います。



(1) ChatCom (Bluetooth)

ChatCom2 がインストールされた PC と Bluetooth を使ってメニューファイルを取り込む場合に選択します。

※事前に PC とハンディターミナルのペアリングを行ってください。

(2) ChatCom (TCP/IP)

ChatCom2 がインストールされた PC と Wi-Fi を使ってメニューファイルを取り込む場合に選択します。

※PC の IP アドレス/ポート番号で TCP/IP 通信ができるように設定してください。(ファイアウォールやネットワークセキュリティなど)

(3) FTP

FTP サーバーからメニューファイルを取り込む場合に選択します。

※メニューファイル名は「MENU.TXT」、拡張子が「MNU」のファイルが対象となります。

(4) 内部ストレージ

内部ストレージからメニューファイルを取り込む場合に選択します。

※メニューファイル名は「MENU.TXT」、拡張子が「MNU」のファイルが対象となります。

(5) WEB API

JobCreatorWEB アプリからメニューファイルを取り込む場合に選択します。

※インターネットへの接続設定が必要です。

(6) QR CODE

JobCreatorWEB アプリで生成した QR コードを読み込んでメニューファイルを取り込む場合に選択します。

※インターネットへの接続設定が必要です。

(7) 共有フォルダ

ファイルサーバーの共有フォルダからファイルを送受信する場合に選択します。

※Android 端末から接続可能なことを前提とします。共有フォルダの作成方法等、PC 側の設定方法については

サポートしておりません。

※SMB1 には対応していません。

3.3.5. ライセンス認証



アプリのライセンス認証を行います。

※ライセンス認証に失敗する場合は

ご利用端末の機種名、型番、シリアル番号、端末識別番号をご確認の上、弊社までご連絡ください。

3.3.8. アプリ共通設定



○共通設定

(1) ターミナルID

ハンディターミナル端末のIDを設定します。

(2) オペレータID

ハンディターミナルを操作するユーザーIDを設定します。

(3) 固定項目への自動分割

JobCreatorWEBで名称欄に<&splitX>のコマンドを設定している場合に、区分が「固定」の項目へも分割されたデータを入力するかを設定します。

(4) 自動確定

最後の入力項目が初期値なし、入力方法が「キーボード」「キーボード/スキャナ」「スキャナ」、区分が「必須」の場合に、全入力項目が入力されていれば自動で確定ボタンが押下されるかを設定します。

(5) スキャンボタンの表示

入力方法に「スキャナ」が含まれている入力項目にカメラでバーコードをスキャンするためのボタンを表示するかを設定します。

(6) スキャナの制御(Honeywell 端末のみ)

無効にした場合、WelPet内でのアプリによるスキャナの制御を行わず、本体の設定でスキャナが動作します。

※QRコードによるメニューファイルの受信、バーコードチェッカー等、一部の機能が使用できなくなります。

(7) 自動スクロール

入力項目の数が多く、スクロールが必要な場合に、画面を自動でどの程度スクロールするかを設定します。

(8) ファイル送受信文字コード

ChatCom 以外のファイル送受信する場合の文字コードを UTF-8、Shift-JIS で指定します。

※ChatCom は Shift-JIS のみとなります。

(9) Bluetooth スキャナ

収集画面で、SPP 接続されたスキャナで読み取ったデータを入力する場合に、使用するスキャナを選択します。

収集画面表示時に接続、収集画面非表示時に切断を行います。

あらかじめハンディターミナルとモバイルスキャナをペアリングしておく必要があります。

※スキャナのサフィックスに「CR(0x0D)」を設定してください。

(10) 固定メニュー

アプリ起動時に選択されたメニューファイルを表示し、メニューファイル選択画面を表示しません。

※アプリの再起動後に設定が反映されます。

○印刷設定

(1) Bluetooth 印刷

拡張設定を使ってモバイルプリンタへ Bluetooth で印刷を行う場合に選択します。

(2) プリンタ

Bluetooth 印刷で使用するプリンタを選択します。

あらかじめハンディターミナルとモバイルプリンタをペアリングしておく必要があります。

(3) 接続を維持

収集、照合画面を表示中、モバイルプリンタとの Bluetooth 接続を維持する場合に選択します。

(4) TCP/IP 印刷

拡張設定を使ってモバイルプリンタへ TCP/IP で印刷を行う場合に選択します。

(5) IP アドレス、ポート番号

TCP/IP 印刷で使用するプリンタの IP アドレス、ポート番号を設定します。

(6) 印刷確認ダイアログの表示

印刷を行う前に印刷をするかどうかの確認ダイアログを表示するか設定します。

(7) 再印刷確認ダイアログの表示

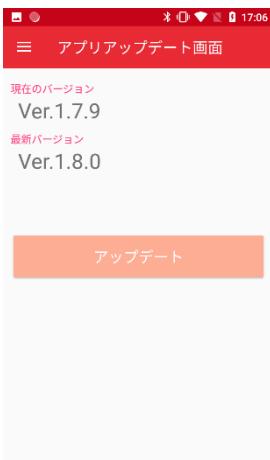
印刷を行った後にもう一度印刷をするかどうかの確認ダイアログを表示するか設定します。

(8) プリンタ出力文字コード

拡張設定でプリンタに送信するコマンドの文字コードを UTF-8、Shift-JIS で指定します。

※**使用するプリンタの仕様に合わせて設定してください。**

3.3.7. アプリアップデート



最新バージョンのアプリがあるかチェックします。

最新バージョンのアプリがあれば、アップデートボタンでアプリをダウンロードすることができます。

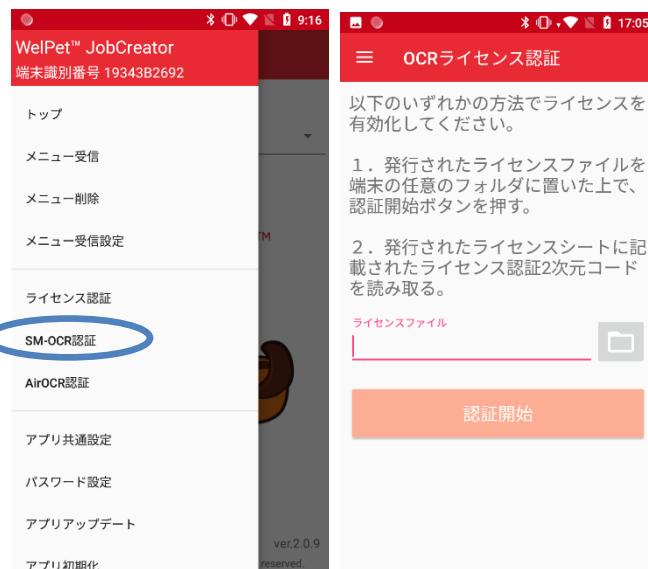
3.3.8. アプリ初期化



アプリを初期化します。

設定、メニューファイル、データファイル等、ライセンスファイル以外のファイルを削除して初期化します。

3.3.9. SM-OCR ライセンス認証



ソロモン OCR に対応した機種の場合は、OCR ライセンス認証のメニューが表示されます。

別途、ソロモン OCR ライセンスの購入が必要になります。

認証方法については、ソロモン OCR ライセンス認証シートに記載があります。

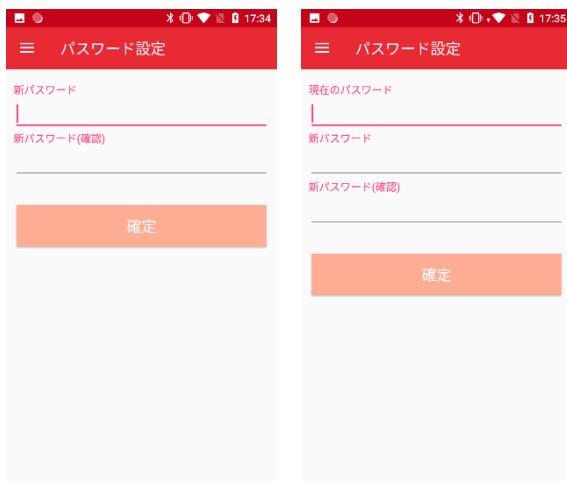
3.3.10. AirOCR®ライセンス認証



本アプリで AirOCR®を使用するためのライセンス認証を行います。

別途、AirOCR®ライセンスの購入が必要となります。

3.3.11. パスワード設定



パスワードの設定を行います。

初期状態ではパスワードは設定されていません。

ここで設定したパスワードはシステムメニューの「ログイン」で使用されます。

3.3.12. ログイン

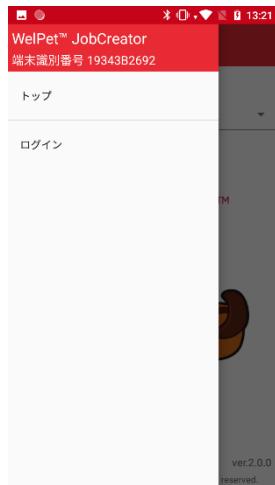


パスワードを入力し、ログインを行います。

ログイン状態の場合、システムメニューにすべての項目が表示されます。

パスワードを設定していない場合、常にログイン状態となります。

3.3.13. ログアウト



ログアウトを行います。

システムメニューに表示される項目が「トップ」、「ログイン」のみになります。

4. JobCreatorWEB アプリ

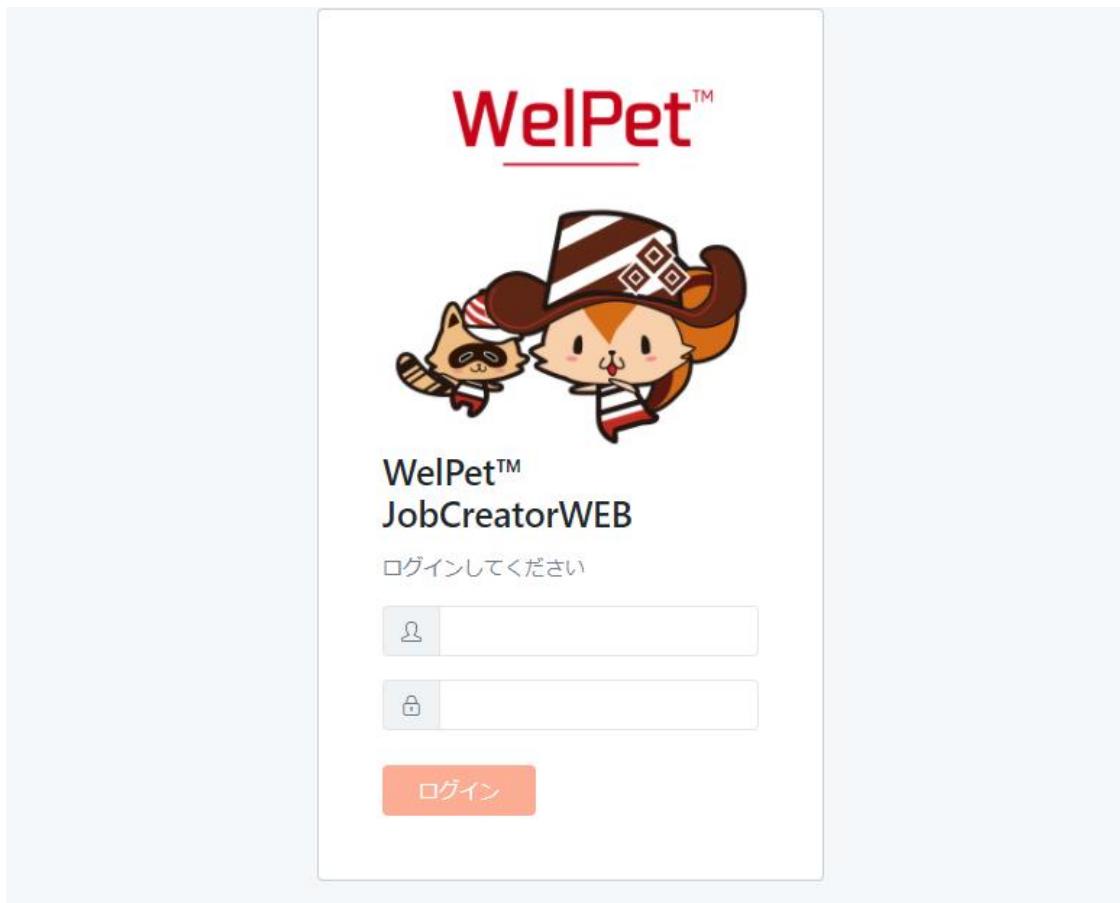
4.1.起動方法

「Google Chrome」を使って、以下のサイトへアクセスします。

<https://welpet.sakura.ne.jp/jobcreator/login>

4.2.画面説明

4.2.1.ログイン画面



※ログインIDとパスワードの発行は、ユーザー登録を行って頂く必要があります。

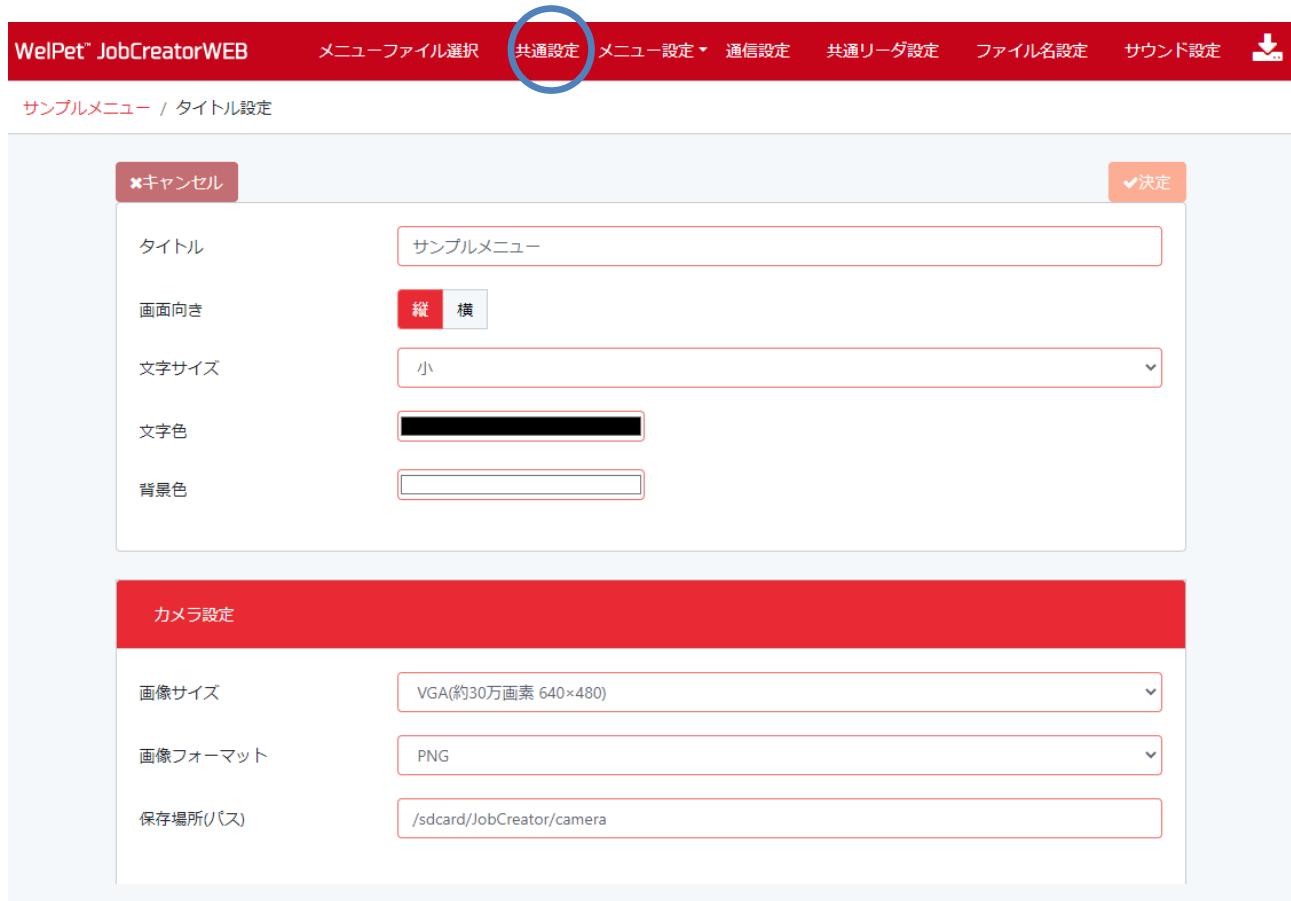
詳しくは弊社ホームページ www.e-welcom.com の WelPet をご確認ください。

4.2.2. メニューファイル選択

メニューファイルを新規作成、編集、削除することができます。

エクスポートしたメニューファイルをインポートすることもできます。

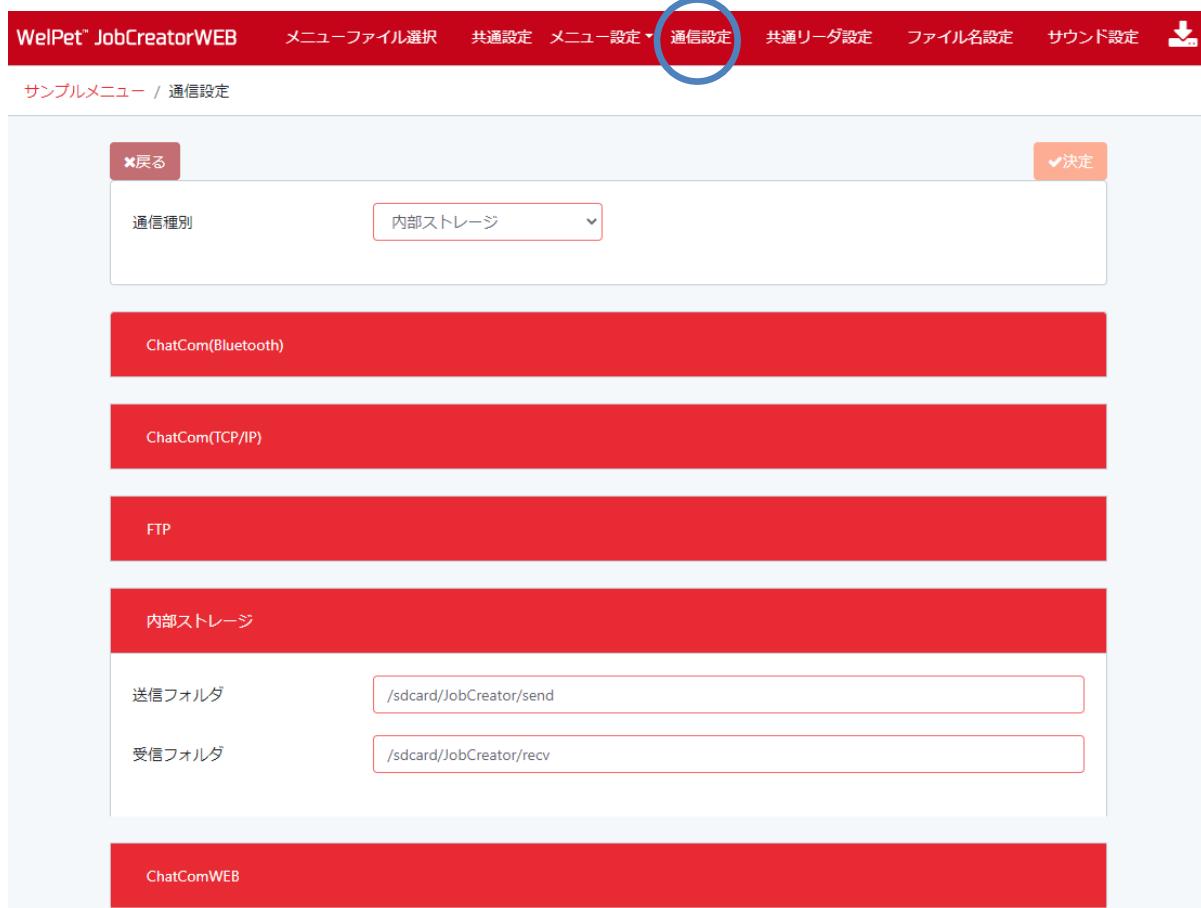
4.2.3. 共通設定



タイトル、文字サイズや色を設定することができます。

カメラで撮影した画像のサイズやフォーマット、保存場所を設定することができます。

4.2.4. 通信設定



通信種別を「ChatCom (Bluetooth)」、「ChatCom (TCP/IP)」、「FTP」、「内部ストレージ」、「ChatComWEB」、「共有フォルダ」から選択します。

通信種別に合わせて詳細な設定を行ってください。

4.2.5. 共通リーダ設定

サンプルメニュー / 共通リーダ設定

使用する機種によって設定できない項目があります

＊戻る

モメンタリ

ブザー バイブ LED

白黒反転バーコードを許可

中央読みを許可

削除

▼ 決定

コード変換

データ抽出

読み取りフィルタ

読み取りコード設定

読み取りモードや、読み取り動作、読み取りバーコードの設定を行うことができます。

※モメンタリ：スキャンボタンを押している間、レーザ照射しバーコードを読みます。ボタンを離すとレーザ照射を中止します。

※オルタネート：スキャンボタンを押すとレーザ照射しバーコードを読みます。もう一度ボタンを押すとレーザ照射を中止します。

※オートトリガ：入力項目にフォーカスが移動した際に自動でレーザ照射します。

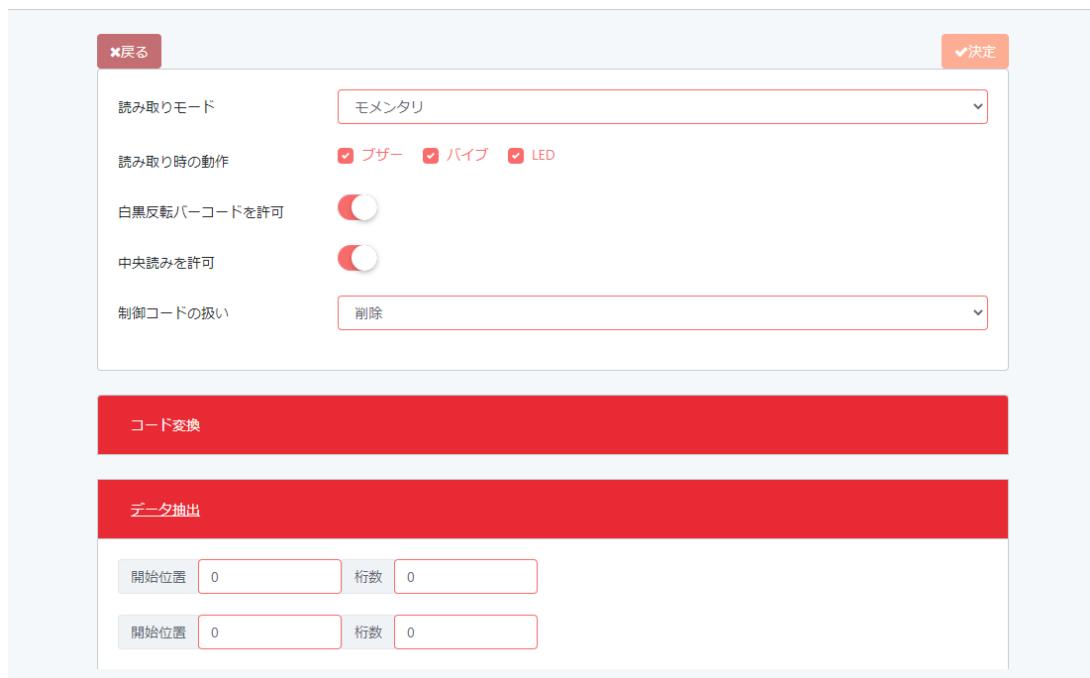
※リードオンリリース：スキャンボタンを押している間レーザ照射し、ボタンを離すとバーコードを読みます。

※リードオンセカンドショット：スキャンボタンを押すとレーザ照射し、もう一度ボタンを押すとバーコードを読みます。

※バーコードを読み込むとレーザ照射は中止されます。

※使用する機種によって設定した内容の機能が無い場合は、設定した内で動作しません。

使用する機種によって設定できない項目があります



The screenshot shows the '読み取りモード' (Reading Mode) configuration screen. It includes the following settings:

- 読み取りモード:** モメンタリ
- 読み取り時の動作:** ブザー バイブ LED
- 白黒反転バーコードを許可:**
- 中央読みを許可:**
- 制御コードの扱い:** 削除

スキャンしたデータ（バーコードのみ）の一部を抽出することができます。

スキャンしたデータの2か所を抽出して一つのデータにすることができます。



The screenshot shows the '読み取りフィルタ' (Reading Filter) configuration screen. It includes the following fields:

- 読み取りパターン(正規表現):**
- 条件を反転:**
- 出力フォーマット(正規表現):**

スキャンしたデータ（バーコードのみ）が読み取りパターンに設定した正規表現のパターンに一致しているかチェックし、一致している場合のみデータを出力します。「条件を反転」を有効にしている場合、パターンに一致していない場合のみデータを出力します。

出力フォーマットを設定している場合、パターンに一致している部分は設定されたフォーマットで出力されます。

キャプチャグループ、名前付きキャプチャグループが使用できます。

※「条件を反転」を有効にしている場合、出力フォーマットの設定を行なうことはできません。

※読み取りパターンは、Javaでの正規表現パターンを設定してください。

※上級者向け機能となります。

例) 以下の設定で「AA12345」をスキャンした場合、出力されるデータは「12345,AA」となります。

読み取りパターン: ^([A-Z]{2})([0-9]{5})\$

出力フォーマット: \$2,\$1

4.2.6. ファイル名設定

サンプルメニュー / ファイル名設定

ファイル種別（EXCEL、ACCESS、TSV（タブ区切り））は WelPet ChatCom を使用した場合の設定となります。
ChatCom以外で送受信する場合は、CSV（コンマ区切り）となります。

ファイル	ファイル名	形式
FILE1	DAT01.CSV	CSV(コンマ区切り)
FILE2	DAT02.CSV	CSV(コンマ区切り)
FILE3	DAT03.CSV	CSV(コンマ区切り)
FILE4	DAT04.CSV	CSV(コンマ区切り)
FILE5	DAT05.CSV	CSV(コンマ区切り)

ファイル名、フォーマットなどを設定することができます。

※ファイル種別（EXCEL、ACCESS、TSV（タブ区切り））は ChatCom を使用する場合のみ有効となります。

ChatCom 以外で送受信する場合は、CSV（コンマ区切り）となります。

※FTP でファイルを送信する場合は、上書きとなります。

※ファイル名を設定しない場合は、Dn.txt、Mn.txt、Ln.txt（n はファイルの番号）となります。

※定義文字列として「&I」はターミナルID、「&D」は日付、「&T」は時刻がファイル名に付加されます。

例) DAT1_&I_&D_&T.csv => DAT1_T001_20200204_121104.csv

4.2.7. サウンド設定

サンプルメニュー / サウンド設定

サウンド

+新規作成

名称		
OK	<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>
NG	<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>
完了	<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>

メッセージ表示時のサウンドパターンを作成することができます。

サンプルメニュー / サウンド設定 : OK

▼戻る

✓決定

タイトル	OK
音量	小
音程	高音
回数	1
パイプ運動する	<input checked="" type="checkbox"/>
LED運動する	<input checked="" type="checkbox"/>
メッセージ表示タイプ	全画面
メッセージ表示時間(秒)	0
メッセージ背景色	
ダイアログに表示するタイトル	タイトル
メッセージ内容	メッセージ内容

※0の場合は、画面をタップするまで表示し続けます

※ダイアログのタイトルに表示されるメッセージを変更する場合は設定してください。

※ダイアログと全画面に表示されるメッセージを変更する場合は設定してください。

作成したサウンドパターンの設定を行うことができます。

4.2.8. 機能設定



業務メニューのタイトル、機能（収集、消し込み、マスタ照合、照合、ファイル送受信、バーコードチェッカーなど）を選択して、それぞれの機能の詳細設定を行うことができます。



消し込みの場合は、参照するマスタファイルと、数量フィールドの設定を行うことができます。

※ハンディの数量入力場所は、入力項目の最後に設定してください。

※名称にコマンドを記載することで最終入力項目以外に変更可能です。



マスタ照合の場合、参照するマスタファイルの一致レコード削除の設定を行うことができます。
また、マスタの内容を表示することができます。



収集、消し込み、マスタ照合、照合結果サウンドの設定を行うことができます。



ファイル送信、受信、削除、表示の対象ファイルを選択することができます。

4.2.9. 入力項目設定（項目設定）

「区分」には固定、共通、必須があります。

固定は収集データの中に決まった値（初期値）を登録する場合に設定します。

共通は入力作業を繰り返す場合、最初に入れた（一つ前に入力された）値を2回目以降も使用する場合に設定します。

必須は毎回入力する必要がある項目に設定します。

名称や文字サイズ、色などを設定することができます。また、「名称」にはコマンドを記載することができます。

詳細については「6.参考資料」をご確認ください。

「入力方法」にはキーボード、スキャナ、リスト、カメラ、カレンダー、タイムスタンプ、OCR、AirOCR®、NFC、RFID、計算式があります。

キーボードはソフトウェアキーボードを使って値を入力します。

スキャナはバーコードをスキャンして値を入力します。

リストは選択されたリストファイルの一覧から値を選択する場合に設定します。

カメラはハンディターミナルのカメラを使って画像データを収集する場合に設定します。

カレンダーはカレンダーから日付を選択する場合に設定します。

タイムスタンプは現在日時を入力する場合に設定します。

入力方法にキーボード、スキャナを選択した場合は、入力種別や行数などを設定することができます。

入力方法に計算式を選択した場合は、特殊設定に計算式を設定することができます。

計算式では以下のコマンドを使用できます。

コマンド	意味
[IN1]、…、[IN20]	入力データに置換します。 数値に変換できる場合は数値、そうでない場合は文字列として扱います。
[IN1_STR]、…、[IN20_STR]	入力データに置換します。文字列として扱います。

例) 計算式に[IN1]+[IN2]を設定し、入力項目1に「4」、入力項目2に「6」を入力した状態で計算ボタンをタップした場合、「10」が入力されます。

入力方法にスキャナ、OCR、AirOCR®、NFCを選択した場合は、特殊設定に読み取ったデータ編集を設定することができます。
読み取ったデータ編集では以下のコマンドを使用できます。

コマンド	意味
[SCAN_DATA]	読み取ったデータに置換します。 数値に変換できる場合は数値、そうでない場合は文字列として扱います。
[SCAN_DATA_STR]	読み取ったデータに置換します。文字列として扱います。
[SCAN_TYPE]	読み取ったコード種別に置換します。 表示されるコード種別はバーコードチェッカー機能で確認できます。
[IN1]、…、[IN20]	入力データに置換します。 数値に変換できる場合は数値、そうでない場合は文字列として扱います。
[IN1_STR]、…、[IN20_STR]	入力データに置換します。文字列として扱います。

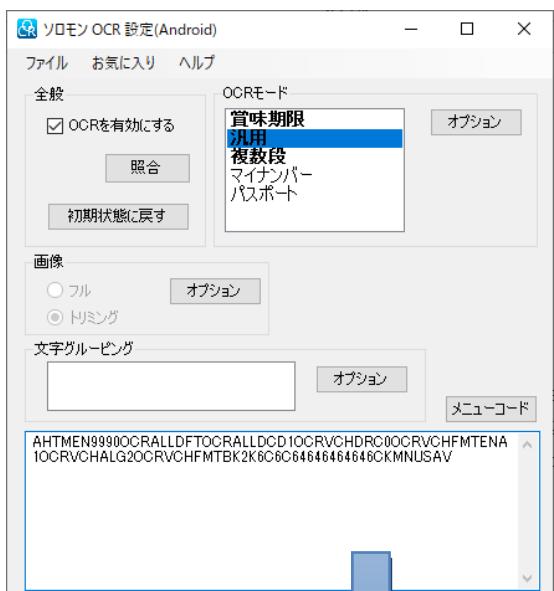
例) 読み取ったデータ編集に「“0”+[SCAN_DATA_STR]」を設定し、「12345」を読み取った場合、「012345」が入力されます。

※OCR(SolomonOCR、BHT-OCR、OCR3.0)を使用するには、対応した製品が必要になります。

※Point Mobile 端末の SolomonOCR には非対応となります。

※別途、OCR ライセンスの購入が必要になります。

※SolomonOCR の設定には、ソロモン OCR メニューツールが必要です。



特殊設定

バーコード読み取りとの切替

禁止(規定値)

OCRコマンド(SolomonOCR)

AHTMEN99900CRALLDFTOCRALLDCD10CRVCHDR00CRVCHFMTEN
A10CRVCHALG20CRVCHFMTBK2K6C6C646464646CKMNUSAV

OCR設定ZIPパス(BHT-OCR) (「/内部ストレージ/」より後のパス)

例 : format/setting.zip

※設定したコマンドを特殊設定の「OCR コマンド」欄に設定してください。

※BHT-OCR 使用時は BHT-OCR で作成した OCR の設定 ZIP ファイルを Android 端末内に配置し、特殊設定の「OCR 設定 ZIP パス」欄に「/内部ストレージ/」以降のパスを設定してください。

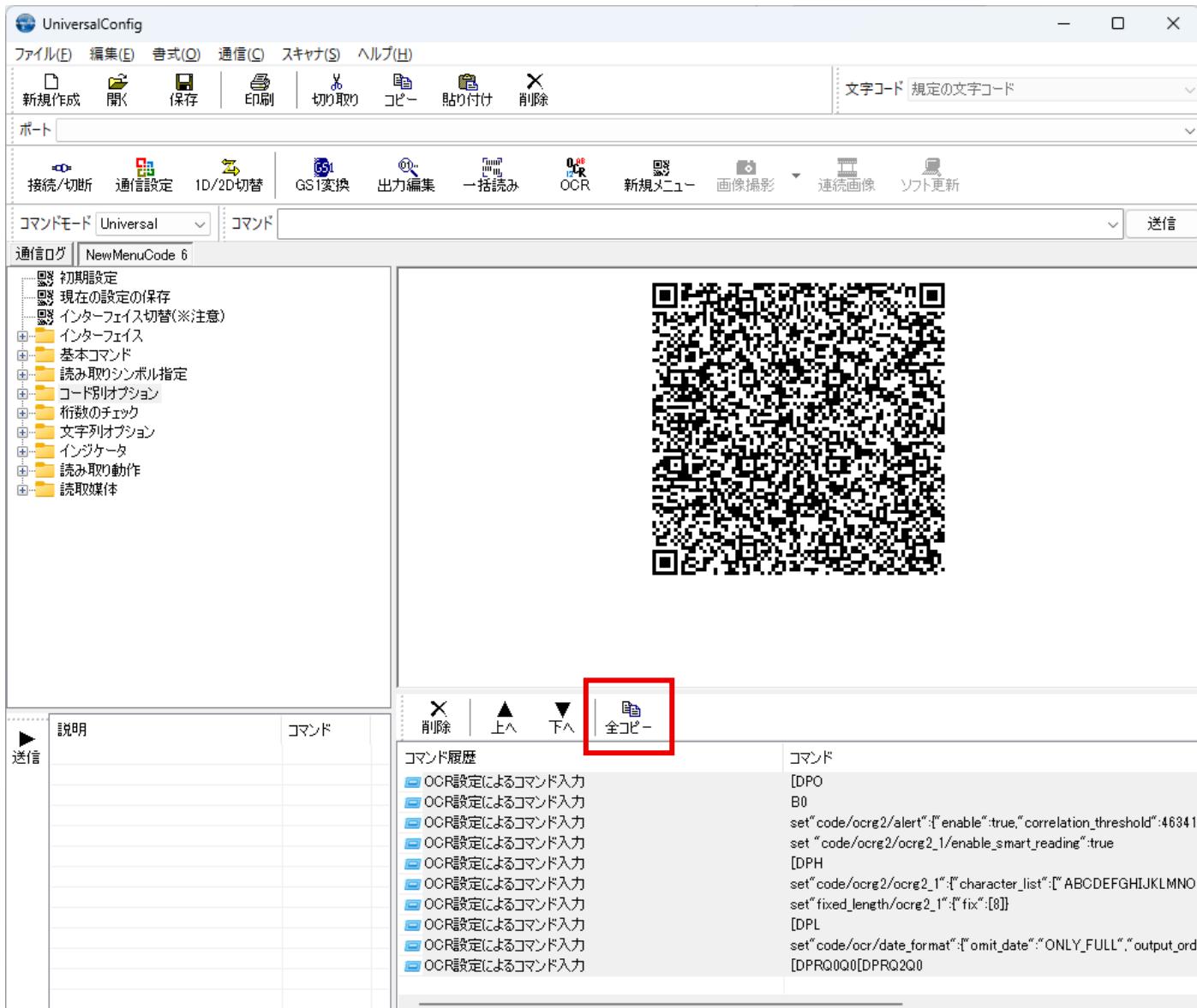
例)

- ①BHT-OCR アプリで OCR の設定を作成し、エクスポートを選択。
- ②任意のフォルダに設定 ZIP ファイルを保存。



- ③JobCreatorWEB で入力方法「OCR(SolomonOCR、BHT-OCR)」を選択し、特殊設定の「OCR 設定 ZIP パス」欄に②で保存した ZIP ファイルの「/内部ストレージ/」以降のパスを設定。
「/内部ストレージ/JobCreator/ocr_settings.zip」を配置した場合、設定欄に「JobCreator/setting.zip」と設定。

※OCR3.0 の設定には、UniversalConfig が必要です。



※設定したコマンドを「全コピー」し、特殊設定の「ユニバーサルコマンド」欄に設定してください。

※設定内容によってはコマンドが対応していない場合があります。

※AirOCR®を使用するには別途、AirOCR®ライセンスの購入が必要になります。

※AirOCR®使用時は、設定ファイル「airocr-setting.json」のIDを特殊設定の「使用する読み取り設定のインデックス」欄に設定してください。

例)

①AirOCR®設定ツールで「airocr-setting.json」を作成。

②作成した「airocr-setting.json」をAndroidの「/内部ストレージ/AirOCR/」フォルダに配置。

③JobCreatorWEBで入力方法「AirOCR®」を選択し、特殊設定の「使用する読み取り設定のインデックス」欄に使用する設定のIDを入力。

下図のような設定を作った場合に、作業日の読み取りを行う場合、設定欄に「2」を設定。

ID	パターン名
1	指示No
2	作業日
3	一括読み取り

※NFCはUID、NDEFフォーマットデータの読み取りに対応しています。

※NFCは他アプリのNFC読み取りサービスが動作している場合は正常に動作しません。

※RFIDはZEBRA MC3300のみ対応しています。

※RFIDはUIDの読み取りのみおこないます。

4.2.10. 入力項目設定（データチェック）



データチェックには「収集済みデータとの照合」「入力データとの照合」「マスタデータとの照合」「処理分岐の条件」の4つの処理を設定することができます。



収集済みデータとの照合は、収集済みの「中に有る」／「中に無い」／「一つ前と同じ」／「一つ前と違う」を選択することができます。

上記条件に合致する場合は、再入力を行うか行わないか設定できます。

また上記条件に合致した場合のサウンド設定を行うことができます。



照合元のデータ抽出位置を設定することができます。

照合先の入力項目の番号を選択し、照合先のデータ開始位置を設定することができます。

照合条件が「同じ」か「違う」場合を選択することができます。

上記条件に合致した場合は、再入力を行うか行わないか設定できます。

また上記条件に合致した場合のサウンド設定を行うことができます。

マスタデータとの照合

照合する

入力項目1 (抽出: 開始位置 0 行数 0) が マスタファイル1 の
0 番目フィールド (抽出: 開始位置 0) が 有る 場合 再入力を行う

サウンド設定 なし

有る場合 マスタデータを表示する 日付チェックを行う

サウンド設定 なし

照合元のデータ抽出位置を設定することができます。

照合先のマスタファイル番号と、照合先のフィールド、開始位置を設定することができます。

照合条件が「有る」か「無い」を選択することができ、再入力を行うか行わないか設定できます。

マスタデータに該当データがある場合、マスタデータを表示することができます。

データ名と同じ画像がある場合、画像データを表示させることもできます。

※画像データはハンディターミナルの「/JobCreator/master」に値と同じ名称のファイルを置いてください。(画像フォーマットはjpeg またはpng)

※例: 入力した値が「1234」で、表示したい画像ファイルが「1234.jpg」の場合

/JobCreator/master フォルダに「1234.jpg」ファイルを置いてください。

マスタデータに合致するデータがある場合、日付チェックを行うこともできます。

マスタデータとの照合

照合する

入力項目1 (抽出: 開始位置 0 行数 0) が マスタファイル1 の
0 番目フィールド (抽出: 開始位置 0) が 有る 場合 再入力を行う

サウンド設定 なし

有る場合 マスタデータを表示する 日付チェックを行う

日付フィールド 番目が 超過した 場合アラートを表示する

サウンド設定 なし

日付フィールドを選択して、「超過した」か「～日を切った」場合にアラートを表示させることができます。

また上記条件に合致した場合のサウンド設定を行うことができます。

※マスタデータの日付フォーマットは「2019/07/01」のように月と日は2桁で記述してください。



チェックするデータを抽出することができます。

チェックする対象を「データ」または「行数」で選択することができます。

データの場合は文字列を、行数の場合は数値を設定し、比較条件として「と一致する」「と一致しない」「より大きい」「以上」「より小さい」「以下」「で始まる」「で終わる」「を含む」「を含まない」を選択することができます。

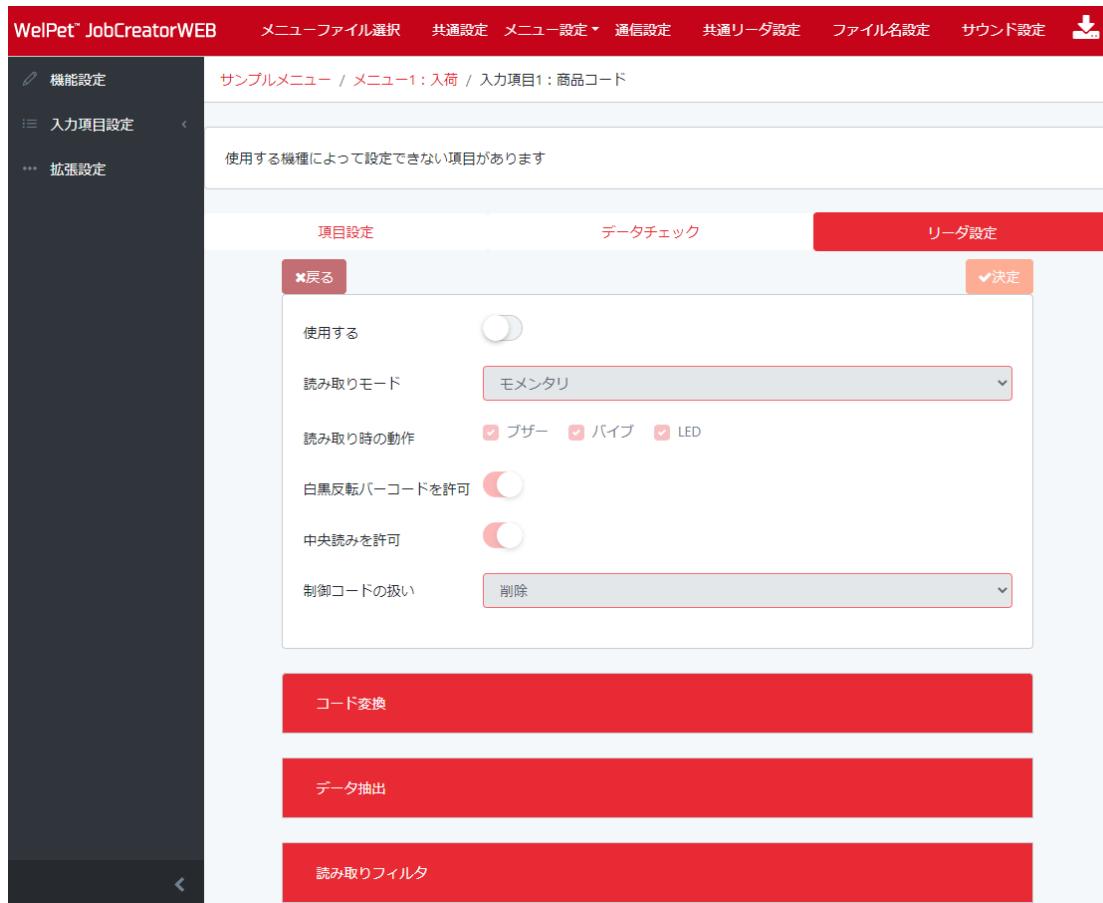
「AND」または「OR」で条件を追加することができます。

上記条件に合致した場合は、入力項目 1 ~ 20、終了の中から選択することができます。

条件に合致しない場合は、次の入力項目に進みます。

また上記条件に合致した場合のサウンド設定を行うことができます。

4.2.11. 入力項目設定（リーダ設定）



入力方法でスキャナを選択した場合は、個別にリーダ設定を行うことができます。

4.2.12. 拡張設定



収集、消し込み、マスタ照合、照合の機能で、全ての入力項目を入力し終わった後に印刷や WEBAPI との通信等を行うための、命令を設定することができます。

※使用するモバイルプリンタに合わせた命令を記述する必要があります。

※命令は送信のみで、プリンタからのデータを受信する機能はありません。

※上級者向け機能となります。

4.2.13. メニューファイルダウンロード



WelPet™ JobCreatorWEB 共通設定 メニュー設定 通信設定 共通リーダ設定 ファイル名設定 サウンド設定

サンプルメニュー / メニュー設定

メニュー

名称	機能	データファイル
入荷	収集	データファイル1
出荷	収集	データファイル2

設定した内容をメニューファイルとしてダウンロードします。

メニューファイルは JobCreator クライアントへのメニューの受信に使用できます。

4.2.14.QR コード表示

The screenshot shows the WelPet JobCreatorWEB application interface. At the top, there is a red navigation bar with several tabs: 共通設定 (Common Settings), メニュー設定 (Menu Settings), 通信設定 (Communication Settings), 共通リーダ設定 (Common Reader Settings), ファイル名設定 (File Name Settings), サウンド設定 (Sound Settings), and a QR code icon. The QR code icon is circled in blue. Below the navigation bar, the URL "サンプルメニュー / メニュー設定" is displayed. The main content area has a red header bar labeled "メニュー". Below it is a table with three rows:

名称	機能	データファイル
入荷	収集	データファイル1
出荷	収集	データファイル2

設定した内容を JobCreator クライアントへ受信するための QR コードを表示できます

5. ChatComWEB アプリ

本製品はChatComWEB を用いたリアルタイム通信対応しています。

使用方法については ChatComWEB の取扱説明書をご確認ください。

<https://welpet.sakura.ne.jp/chatcom/>

6. 參考資料

6.1. 各種ファイルについて

メニュー ファイル名

メニュー ファイル	MENU.TXT または、拡張子が MNU のファイル
-----------	-----------------------------

データ ファイル名

データ ファイル 1~10	D1.TXT ~ D10.TXT
---------------	------------------

マスタ ファイル名

マスタ ファイル 1~10	M1.TXT ~ M10.TXT
---------------	------------------

リスト ファイル名

リスト ファイル 1~10	L1.TXT ~ L10.TXT
---------------	------------------

WAV ファイル名

WAV ファイル 1~10	S1.WAV ~ S10.WAV
---------------	------------------

※データ ファイル/マスタ ファイル/リスト ファイルのフォーマットは CSV 形式です。

※ChatCom2 で扱うデータは SJIS の文字コードとなります。

※収集した画像データを送信する場合は、データ ファイル名と ZIP ファイルでまとめて送信します。

※リスト ファイルは、2 フィールドで設定することもできます。

例) 商品 A, 100 とした場合、リスト入力にすると商品 A が選択出来るようになります。

収集したデータには 100 が保存されます。

※WAV ファイルはデフォルトで /JobCreator/Sound フォルダに作成されます。

WAV ファイルの内容を変更する場合は、同名のファイルで置き換えてください。

S1.WAV	照合できました	通常 (女性)
S2.WAV	照合できません	通常 (女性)
S3.WAV	OK です	通常 (女性)
S4.WAV	NG です	通常 (女性)
S5.WAV	よろしあす	京風 (女性)
S6.WAV	そうどすえ	京風 (女性)
S7.WAV	おきばりやす	京風 (女性)
S8.WAV	あきまへんなあ	京風 (女性)
S9.WAV	ヨツシヤツ	河内風 (男性)
S10.WAV	ちやうちやう	河内風 (男性)

6.2. 拡張設定の補足

6.2.1. 拡張コマンド

○プリンタ、WEBAPI、メール共通拡張コマンド

コマンド	意味	備考
[IN1]、[IN2]、…、[IN20]	入力データに置換します。	
[OUT1]、[OUT2]、…、 [OUTx]	マスタ参照結果のデータに置換します。	マスタ参照結果は、入力処理でマスタ照合を行って一致したレコードの内容になります。
[DATE]	日付(yyyy/MM/dd)に置換します。	
[TIME]	時刻(HH:mm:ss)に置換します。	

○プリンタ用コマンド

コマンド	意味	備考
<PRT-START> ~ <PRT-END>	本コマンドの間に記述された命令をモバイルプリンタへ送信します。	<p>・印字命令は使用するモバイルプリンタの取扱説明書等を参照してください。</p> <p>・全てのモバイルプリンタへ印刷が行えることは動作保証していません。</p> <p>・命令はハンディターミナルからモバイルプリンタへ送信のみ行います。モバイルプリンタからのデータを受信することは出来ません。</p>
<0> ~ <255>	0x00~0xFF に置換します。	
<ESC>	0x1B に置換します。	
<FS>	0x1C に置換します。	
<GS>	0x1D に置換します。	
[BYTE_SIZE_IN1] ~ [BYTE_SIZE_IN20]	入力値をバイト変換したときのサイズを文字として取得します。 例) IN1 が 123 で [BYTE_SIZE_IN1] を指定した場合、3(0x33)に置換されます。	[<BYTE_SIZE_INx>]と記述すると入力値をバイト変換したときのサイズをバイトとして取得します。 例) IN1 が 123 で [<BYTE_SIZE_IN1>]を指定した場合、0x03 に置換されます。
[BYTE_SIZE_OUT1] ~ [BYTE_SIZE_OUTx]	マスタ参照結果をバイト変換したときのサイズを文字として取得します。	[<BYTE_SIZE_OUTx>]と記述するとマスタ参照結果をバイト変換したときのサイズをバイトとして取得します。
[xxxx+xxxx]	2 値の加算を行います。	・計算結果に含まれる小数は切り捨てられます。
[xxxx-xxxx]	2 値の減算を行います。	例) IN1 が 10 で [IN1+100]を指定した場合、文字で 110(0x31、0x31、0x30)に置換されます。
[xxxx*xxxx]	2 値の乗算を行います。	

[xxxx/xxxx]	2 値の除算を行います。	例) IN1→10、IN2→3 の場合、[IN1%IN2] → 1(「3 余り 1」の 1)に置換されます。
[xxxx%xxxx]	2 値の剰余演算を行います。	
[{xxxx}]	数値を 3 行区切りにします。 例) [{1000}] → 1,000	x は任意の数字です。
[TERMINAL_ID]	ターミナル ID に置換します。	
[OPERATOR_ID]	オペレータ ID に置換します。	
[LEFT(xxxx,y)]	xxxx で指定された文字列から先頭 y 行を抽出します。 xxxx には IN1～IN20、OUT1～OUT20 が指定できます。	例) IN1→123456 の場合、[LEFT(IN1,3)] → 123 に置換されます。
[RIGHT(xxxx,y)]	xxxx で指定された文字列から末尾 y 行を抽出します。 xxxx には IN1～IN20、OUT1～OUT20 が指定できます。	例) IN1→123456 の場合、[RIGHT(IN1,3)] → 456 に置換されます。
[MID(xxxx,y,z)]	xxxx で指定された文字列の y 行目から z 行を抽出します。 xxxx には IN1～IN20、OUT1～OUT20 が指定できます。	例) IN1→123456 の場合、[MID(IN1,2,3)] → 234 に置換されます。
<SUNMI-LABEL>	SUNMI 端末内蔵プリンタでラベルを印刷します。	<ul style="list-style-type: none"> ・<SUNMI-LABEL>のコマンドは<PRT-START>～<PRT-END>の外に記述してください。 ・端末がラベル印刷に対応している必要があります。

○WEBAPI用コマンド

コマンド	意味	備考
<WEBAPI-START> ~ <WEBAPI-END>	本コマンドの間に JSON 形式で設定された内容で、WEBAPI へ接続します。 設定可能なデータは以下の「WEBAPI 用 JSON」の通りです。	・HTTP レスポンスステータスコードが 200~299 の場合は「成功」、それ以外の場合は「失敗」とします。 ・「失敗」時は確定処理を実施しません。 ・エンコードは「UTF-8」となります。

・WEBAPI 用 JSON

項目	必須	型	意味	備考
url	○	文字列	接続先を設定します。	
method	○	文字列	リクエストメソッドを設定します。	
header	×	JSON	ヘッダーを設定します。	
parameter	×	JSON	GET、HEAD 通信時はクエリパラメータ、それ以外の通信時はリクエストボディを設定します。	リクエストボディのデータ形式は「application/json」となります。
successMessage	×	文字列	「成功」時、ここで設定されたキーのレスポンス JSON の内容を取得して表示します。	対応しているレスポンスのデータ形式は「application/json」です。
errorMessage	×	文字列	「失敗」時、ここで設定されたキーのレスポンス JSON の内容を取得して表示します。	対応しているレスポンスのデータ形式は「application/json」です

○メール用コマンド

コマンド	意味	備考
<MAIL-START> ~ <MAIL-END>	本コマンドの間に JSON 形式で設定された内容で、メールを起動します。 設定可能なデータは以下の「メール用 JSON」の通りです。	

・メール用 JSON

項目	必須	型	意味
to	※	文字列	送信先メールアドレスを設定します。
title	※	文字列	メールタイトルを設定します。
body	※	文字列	メール本文を設定します。

※ いずれか 1 つの設定が必須です。

○その他コマンド

コマンド	意味	備考
<MOVEx>	他のメニューへ移動します。	x は移動先のメニュー番号(上から 1, 2, …, 10)です。
<FINISH>	トップメニューへ戻ります。	

6.2.2. 拡張コマンドサンプル

○プリントサンプル

例) TSC Alpha-2R 用サンプル印字

```
<PRT-START>
SIZE 50mm,30mm<13><10>
DIRECTION 0<13><10>
CLS<13><10>
CODEPAGE UTF-8<13><10>
TEXT 50,10,"WKG.TTF",0,10,10,"サンプル印字"<13><10>
TEXT 5,45,"WKM.TTF",0,10,10,"WelPet for Android"<13><10>
TEXT 30,75,"WKM.TTF",0,10,10,"ITF バーコード印字"<13><10>
TEXT 100,100,"WKG.TTF",0,8,8,"WELCOM DESIGN K.K."<13><10>
BARCODE 50,130,"ITF14",80,1,0,2,5,"[IN1]"<13><10>
PRINT 1<13><10>
<PRT-END>
```

例) ZEBRA ZQ320 用サンプル印字

```
<PRT-START>
^XA^CW1,E:IPAG.TTF^CI17
~TA000
~JSN
^LT0
^MNN
^MTT
^PON
^PMN
^LH0,0
^JMA
^PR8,8
~SD15
^JUS
^LRN
^CI27
^PA0,1,1,0
^XZ
^XA
^MMT
^PW639
^LL480
^LS0
^BY4,2,75^FT121,189^BEN,,Y,N
^FH¥^FD[IN1]^FS
^FT154,64^A0N,47,254^FH¥^CI28^FD 照合結果^FS^CI27
^FPH,8^FT38,404^A0N,151,231^FH¥^CI28^FD[IN3]^FS^CI27
```

```

^FO32,81^GB553,0,8^FS
^FPH,8^FT401,380^A1N,35,35^FH¥^CI28^FD 担当者^FS^CI27
^FO358,260^GB201,179,8^FS
^FO365,316^GB191,0,8^FS
^SLS,13
^FT377,307^A0N,37,38
^FC%,{,#
^FH¥^CI28^FD%d/%m/%Y^FS^CI27
^PQ1,0,1,Y
^XZ
<PRT-END>

```

例) SUNMI-V2/V2PRO/V2S 用サンプル印字

[IN1]にJANコード、[IN2]に数量を入力、EAN-13のバーコードを印字します。

```

<PRT-START>
<ESC>@<FS>&<FS>C<255>
<ESC>a<1><GS>h<90><GS>w<3><GS>H<2><GS>k<2>[IN1]<0><10>
<ESC>a<0><GS>!<16><GS>!<1>数量 [IN2]
<ESC>d<4>
<PRT-END>

```

[IN1]に文字を入力、QRコードを印字します。

```

<PRT-START>
<ESC>@<FS>&<FS>C<255><ESC>a<1><GS>!<17>QR 印刷
<GS>!<0>[DATE] [TIME]
<GS><40><107><3><0><49><67><4><GS><40><107><3><0><49><69><51>
<GS><40><107>[<BYTE_SIZE_IN1+3>]<0><49><80><48>[IN1]<GS><40><107><3><0><49><81><48>
<ESC>d<4>
<PRT-END>

```

[IN1]に文字を入力、CODE128のバーコードをラベルに印字します。

```

<SUNMI-LABEL>
<PRT-START>
<ESC>@<FS>&<FS>C<255><ESC>a<1><GS>!<17><GS>h<120><GS>w<2><GS>H<2>
<GS>k<73>[<BYTE_SIZE_IN1+2>]<123>B[IN1]
<PRT-END>

```

※日本語を出力する場合は、<FS>&<FS>C<255>…文字コードUTF-8のコマンドを指定するようにしてください。

※その他のコマンドは、SUNMI社のDeveloper docsのESCPOS instruction documentationを参照してください。

https://ota.cdn.sunmi.com/DOC/resource/re_en/ESC-POS Command set.docx

○WEBAPI サンプル

例) GET 通信

```
<WEBAPI-START>
{
  "url": "https://welpet.sakura.ne.jp/jobcreator/api/sample_api",
  "method": "GET",
  "parameter": {
    "data": "[IN1]"
  },
  "successMessage": "resultData",
  "errorMessage": "message"
}
<WEBAPI-END>
```

例) POST 通信

```
<WEBAPI-START>
{
  "url": "https://welpet.sakura.ne.jp/jobcreator/api/sample_api",
  "method": "POST",
  "parameter": {
    "data": "[IN1]"
  },
  "successMessage": "resultData",
  "errorMessage": "message"
}
<WEBAPI-END>
```

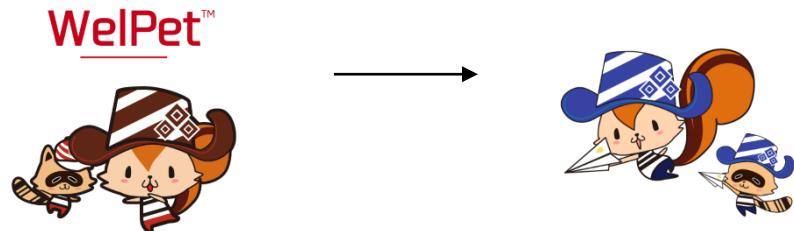
○メールサンプル

例) メール送信設定

```
<MAIL-START>
{
  "to": "test@e-welcom.com",
  "title": "発注",
  "body": "発注お願いします。¥n¥n商品名 : [OUT1]¥n商品コード : [IN1]¥n数量 : [IN2]¥n¥nよろしくお願ひします。"
}
<MAIL-END>
```

6.3. メニューファイル選択画面の画像カスタマイズ

/JobCreator/Camera フォルダに logo.png ファイルを入れておくことで、メニューファイル選択画面の画像を変更することができます。



ver.1.8.1

Copyright 2021 WELCOM DESIGN K.K. All rights reserved.

ver.1.8.1

Copyright 2021 WELCOM DESIGN K.K. All rights reserved.

6.4. 名称に設定できるコマンドについて

項目設定 データチェック リーダ設定

×

戻る

決定

区分	必須	▼
名称	商品コード<&splitX>	コマンド

JobCreatorWEB アプリでのメニュー作成時、各入力項目にコマンドを設定することができます。

設定できる項目は JobCreatorWEB アプリ内の説明を参照してください。

6.5. 初期値に設定できるコマンドについて

初期値

<&now(yyyy/MM/dd)>

コマンド

JobCreatorWEB アプリでのメニュー作成時、初期値にコマンドを設定することができます。

設定できる項目は JobCreatorWEB アプリ内の説明を参照してください。

7. 制限事項・注意事項

7.1. ファイルの注意事項

JobCreator で取り扱うデータファイル、マスタファイル、リストファイルは、カンマ (,) 区切りの CSV 形式のファイルになります。

改行を含むデータを扱うことはできません。

ファイル名やデータについて、使用できない文字があります。

7.2. フォルダの注意事項

Android システムのバージョン 10 以降と、それまでのバージョンにおいて、ハンディターミナル内のフォルダ場所が異なります。

バージョン 10 以後の場合

/内部ストレージ/Android/data/jp.co.welcomdesign.jobcreator/files/JobCreator

バージョン 9 以前の場合

/内部ストレージ/JobCreator

フォルダはアプリケーション起動時に作成されます。

ファイル送受信のフォルダを任意に指定することができますが、本アプリケーションでアクセスできないフォルダがあります。

7.3. アプリケーションについて

ハンディターミナルのメモリの空き容量や負荷によってはアプリケーションが突然終了することがあります。

下記の方法で改善するかご確認ください。

- ・他のアプリケーション（常駐アプリ）を終了させる。
- ・アプリケーションの再インストール。
- ・最適化ツールなどをつかう。
- ・ハンディターミナルの再起動、初期化など。

7.4. バーコード読み取りが出来なくなった場合

下記の方法で改善するかご確認ください。

- ・別の入力項目へフォーカスを変更する。
- ・メイン画面に戻って再度メニューを実行する。
- ・アプリを再起動する。
- ・ハンディターミナルを再起動する。
- ・バーコードスキヤナを使用する他のアプリと競合しないようにしてください

7.5. メニューデータについて

メニューデータのバックアップは、お客様にて適宜行ってください。

将来予告なく、仕様変更する場合があります。

7.6. バーコードチェッカーについて

機種によってはコード種別を判別できないものがあります。

7.7. GS1 フォーマットチェッカーについて

機種によっては GS1-QR を判別できないものがあります。

以下の資料を基にフォーマットチェックを行っております。

一般財団法人 流通システム開発センター様 発行の

- ・アプリケーション識別子 (AI) リスト (2020 年 1 月)
- ・GS1 アプリケーション識別子 (AI) リスト (2020 年 1 月)
- ・標準料金代理収納ガイドライン (2014 年 4 月)
- ・原材料識別のためのバーコードガイドライン (2019 年 9 月)

GS1 アプリケーション識別子の定義は GS1 により継続的に内容は更新される可能性があります。

GS1 フォーマットチェックの正確性・妥当性につきましては細心の注意を払っておりますが、その保証をするものではありません。

利用者等に何らかの損害が発生したとしても、かかる損害については一切の責任を負うものではありません。

お問合せ窓口

- ・弊社ホームページ www.e-welcom.com 問合せフォームよりお問合せください。



ウェルコムデザイン株式会社

本 社 〒651-2228 兵庫県神戸市西区見津が丘1-13-3
TEL. 078-994-5333(代) FAX. 078-994-5400

U R L : www.e-welcom.com 東京本社 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-3 神田大木ビル
e-mail: welcom@e-welcom.com TEL. 03-5295-7250(代) FAX. 03-5295-7252